

人文学・社会科学データインフラストラクチャー構築推進事業
拠点機関におけるデータ共有基盤の構築・強化委託業務 委託業務概要

業務実施研究機関

国立大学法人東京大学

業務実施研究所等

社会科学研究所附属社会調査・データアーカイブ研究センター

業務主任者氏名・役職

三輪 哲・教授

委託業務実施期間

令和3（2021）年4月1日～令和5（2023）年3月31日

業務実施体制図、説明文（概要）

業務実施体制

業務項目	担当責任者
①データアーカイブのシステム強化	計5名（教授1名、助教2名、特任研究員1名、特任専門職員1名）
②データ・書類の英語化と国際化対応	計3名（准教授1名、特任研究員1名、学術専門職員1名）
③運営支援	計3名（教授2名、特任専門職員1名）

本事業を遂行するにあたり、上記の実施体制を組む。社会調査・データアーカイブ研究センターの運営委員長が業務主任となり、全体統括の役割を担う。本事業のために雇用した特任研究員／特任専門職員が実質的な業務の主な担い手となるが、彼女・彼らの指揮監督をおこなうために、また事業の企画や運営をおこなうために、同センターの常勤スタッフがかかわる構造となっている。

なお、システム強化の一環として、セルフ・アーカイブ機能の開発があるが、その際には同センターの社会調査研究分野のスタッフと連携する。また、メタデータの英語化やデータ変換にかんしてはデータアーカイブ室スタッフと、国際シンポジウム開催にかんしては同センターの国際調査研究分野のスタッフとそれぞれ連携する。

配分（予定）額

（単位：千円）

令和3（2021）年度	令和4（2022）年度
31,850	31,850

※令和4（2022）年度については予定額

業務の目的・意義、拠点機関としての役割

人文学・社会科学データインフラストラクチャー構築推進事業は、人文学・社会科学研究に係るデータを分野や国を超えて共有・利活用する総合的なシステムを構築することを目的としてい

ることから、国立大学法人東京大学社会科学研究所附属社会調査・データアーカイブ研究センターは日本学術振興会と一体となって本目的の達成に向けて取り組む。

東京大学社会科学研究所附属社会調査・データアーカイブ研究センターのデータアーカイブSSJDAは、本事業を通じて、システムの強化・改善、英語化への対応、セキュリティの充実化をはかる。その結果、国際的に認められうる信頼できる社会科学データアーカイブとしての地位へと、日本で初めて到達することを目的・意義とする。

SSJDAの国際化、およびオープンサイエンス時代に対応したシステム整備により、日本の人文学・社会科学に貢献することを目指す。それは本事業では、日本の人文学・社会科学での研究データ共有における中核的事業たる、研究データの蓄積および公開を支える基盤構築を担うものとなる。

業務計画の概要

本委託業務にて扱うデータは、社会科学全般にわたる社会調査の個票データとそれに伴うメタデータである。令和3年度および令和4年度についても引き続き、①利用者および寄託者管理システムの強化、②セルフ・アーカイブ機能の導入、③リモート集計システムの強化、④メタデータの共通データカタログへの搭載と、総合的データカタログとの連携に向けた整備、⑤国際認証CTS取得へ向けたポリシーとシステムの整備、以上5点の取組を進めていく。